

第2部 基本構想

第1章 まちづくりの基本理念

本町には、固有の歴史・文化・風土・伝統・自然・人材など、魅力的な地域資源が存在しています。これら地域資源を守り活かすことで、地域に対する誇りや愛着を醸成し、ここで暮らす人々が「暮らし続けたいと思える町」であることが何よりも重要です。地域住民が主体性を持って地域活動やまちづくり活動に参加し、自らが「住みやすく、居心地が良い場所」を創り出すことによって、町の外からも訪れてみたくなる、住んでみたくなる町へと成長する必要があります。

子どもたちがのびのびと、若者は多様な人々と関わり合いながら、高齢者は幸せで豊かな暮らしを、人々が身体も心もいきいきと健康に過ごせる地域を目指します。

ここで暮らす人々のため「健やかなまちづくり」を基本理念とします。

第2章 目指すべきまちの姿

基本理念である「健やかなまちづくり」を実現するためには、ここで暮らす人々がこの地域に住み続けることができるよう、理想とする「まちの将来」を明確にする必要があります。町民アンケート及び町民ワークショップで出された町民の声と、まちの「強み」と「弱み」のSWOT分析の結果により、導き出された「目指すべきまちの姿」をそれぞれ7つの分野ごとに示します。

町民が描く「目指すべきまちの姿」を分野ごとに明確にします。

生活環境

- 海、山など自然が豊かで環境の良いまち
- 道路、除雪、上下水道、清掃センターなどインフラ整備や管理が行き届いたまち
- 地域公共交通が充実し、町民の移動が快適なまち
- 空き家・空き地対策がしっかりしたまち
- 災害や事故・事件が少ない安全・安心なまち

経済・産業

- 地域ならではの名物や観光スポットが豊富なまち
- キャンプ場や温泉、スキー場など恵まれた資源を活かすまち
- 豊かな自然や地域資源を活かし一次・二次産業が活発なまち
- 新たなビジネスにチャレンジできて、三次産業や商店街に活気のあるまち
- 地域に訪れる人々を歓迎し、地域の人々との交流を楽しめるまち

健康・福祉

- 基幹病院やかかりつけ医院など、医療機関が充実したまち
- 健康サークルやウォーキングなど健康意識が高いまち
- 保健センターや医療機関で健康相談がしやすいまち
- 小児科や小児医院など子育て医療が充実したまち
- 高齢者介護・福祉制度が充実したまち

子育て・教育

- 保育所・幼稚園・子育てサークルなど子育て環境が充実したまち
- 小学校・中学校においてハード・ソフト共に教育環境が充実したまち
- 子どもたちが快適に安心して遊べる公園が整備されたまち
- 野球・サッカー・バスケットボール・剣道・空手などスポーツ活動が活発なまち
- 絵画・書道・吹奏楽・合唱など文化サークル活動が活発なまち

歴史・文化

- 木田金次郎美術館を中心として活動する絵のまち
- 岩内地方文化センターを中心として活動する文化活動が活発なまち
- 寺社仏閣など歴史的建造物や伝統行事を守り伝えるまち
- アスパラガス・野生ホップなど発祥の地としての歴史を活かすまち
- 無形・有形文化財を守り伝え、活かすまち

地域コミュニティ

- 町内会・自治会活動が活発なまち
- 世代を超えた人々が助け合い、大切にし合えるまち
- 地域公共交通が充実し、町民の移動が快適なまち
- 移住者や外国人などを受け入れ、大切にすまち
- 顔の見えるご近所付き合いができるまち

行財政運営

- 変化する時代のニーズに対し柔軟に対応できるまち
- 町民への情報発信・情報共有が分かりやすく、充実したまち
- 町民への行政対応が親切で距離感が近いまち
- 協働の精神により町民主体のまちづくりを進めるまち
- 地域の課題を町民と行政のパートナーシップにより解決できるまち

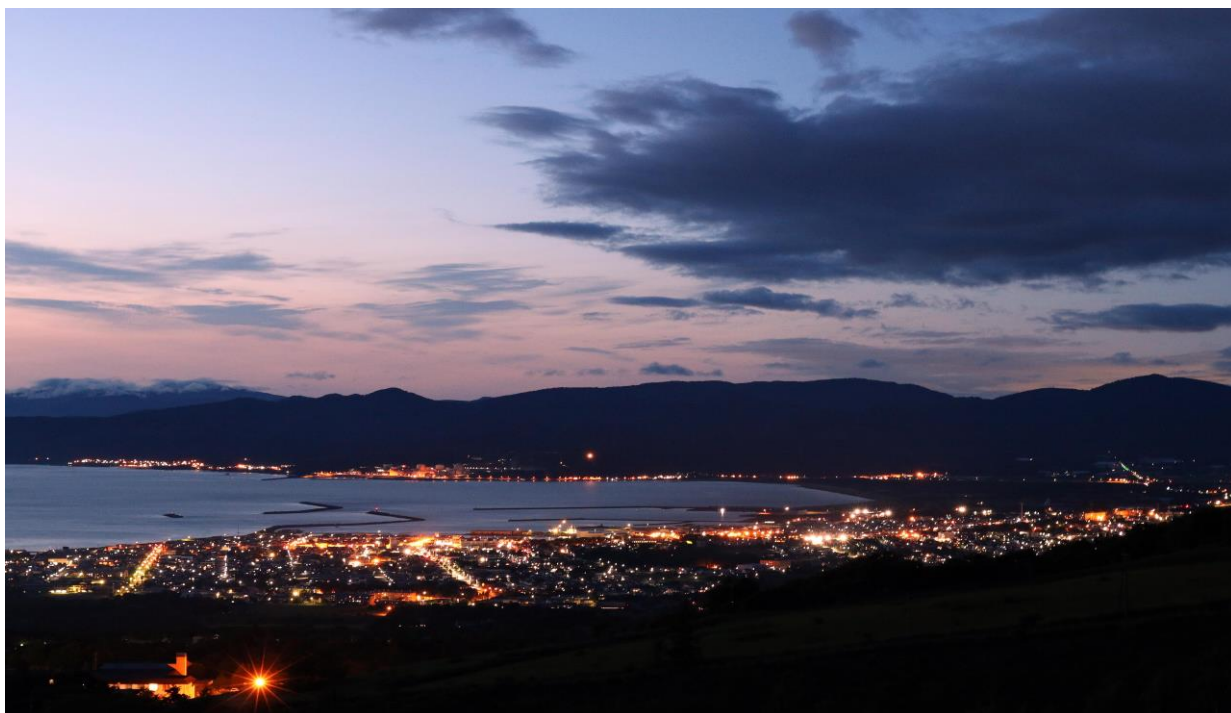
第3章 まちづくりの大綱

基本理念である「健やかなまちづくり」と「目指すべきまちの姿」を実現するため、まちの将来に向けた5つの柱を「まちづくりの大綱」として決めました。各分野の「目指すべきまちの姿」の下、しっかりとまちの未来を見据え、望ましいまちの姿や、住み続けたいと思えるまちの将来を、町民と共有することで、まちづくりの方向性を明確にし、持続可能なまちづくりを進めるための羅針盤とします。

まちの将来に向けた羅針盤となる「5つのまちづくり大綱」を定めます。

岩内町まちづくりの大綱

- ◎ 地域を支える人づくり
- ◎ 地域を支える医療・介護・福祉
- ◎ 地域を支える経済力
- ◎ 地域を支える安全・安心
- ◎ 岩内町セールスプランの推進



(1) 地域を支える人づくり

人はまちの未来を形づくる根幹です。子どもから高齢者まで誰もが、地域社会の中で「豊かな心」と「健やかな身体」を育みながら、新しいことにチャレンジできたり、それを周りが応援できたりする地域風土を創出し、夢や希望に向かって前向きに挑戦できるまちづくりを目指します。

夢や希望に挑戦できる人や、それらを応援できる人を育みます。

(2) 地域を支える医療・介護・福祉

心身共に健康であること、そして、手を取り合い繋がりを持つことは、幸せに暮らしていくための鍵です。人々が支え合い、おかげさま、お互いさまの気持ちを携え、声かけや助け合いの中で、からだも心もいきいきと、誰もが自分らしく健康で暮らせる共生のまちづくりを目指します。

おかげさま、お互いさまの気持ちで生涯活躍できる暮らしを守ります。

(3) 地域を支える経済力

まちのにぎわいを生み出し、人々のいきいきとした暮らしを実現する根幹は、他でもなく地域産業です。産業やビジネスを地域に根付かせ、地域住民や民間企業が主体性を持って地域資源を活用し、経済活動を活発に、その活力を原動力にして前進するまちづくりを目指します。

地域資源を守り活かしながら、活気あふれる地域産業を創出します。

(4) 地域を支える安全・安心

人々の暮らしに安全と安心を提供するためには、快適な都市環境を、柔軟に無理なく維持していく必要があります。また頻発する自然災害などから町民の生命と財産を守るためにも、都市インフラの計画的な整備と自然環境への配慮により、持続可能なまちづくりを目指します。

時代の変化に適応していく、持続可能な都市環境を整えます。

(5) 岩内町セールスプランの推進

人口減少社会の中、都市としての発展を遂げていくためには、まちの魅力を高めることが大切です。地域内外の多様な人々と関係を深めながら、地域資源の磨き上げにより地域のブランド力を強化し、人々の関心や愛着を高め、訪れてみたい、住んでみたい、住み続けたいまちづくりを目指します。

まちに誇りや愛着を抱き、自信を持って地域のあふれる魅力を発信します。